

4 会派の緊急重点要望に対する知事の回答（口頭）

（以下は、日本共産党宮城県議団事務局が録音を起こしその概要をまとめたものです）

4 会派がそろってこうして要望に来られたということは、それぞれみなさまの思いが一つになっているということなので、しっかりと受けとめなければならないと思います。

すべてやりますと言えない部分もありますが、しっかりと受けとめたいと思います。

まもなく2月議会も始まりますので、それに向けて準備を急ピッチで進めております。まとまったら、しっかりとみなさまに説明させていただきたいと思っています。

SDGs（持続可能な開発目標）につきましては、新しい将来構想の中でしっかりと考え方を入れていると思います。案がかたまりましたら、しっかりとご意見をお聞きしたいと思っています。

宿泊税、美術館については、県の方針がまだ固まっていない検討段階で、資料等が出ていますので、それは拙速だとか、まだ何も聞いていないとか言われますが、県の方針が固まってから、しっかりと検討していきたいと考えています。

女川原発については、いろいろ意見がございしますので、しっかりと意見をくんでいきたいと思っています。高レベル核廃棄物の処分について、非常に重要であるというのは、私もその通りだと思っています。県として、いろいろ意見を聞いて対応していききたいと思っています。

上工下水一体官民連携事業については、条例は通りましたけど、まだ最終的に事業者を決めるまでの時間がございしますので、みなさまの意見を聞いてまいりたいと考えています。

1 番目の被災者のみなさまへの対応についてであります。財政的事情がありまして、何もかもとはいきませんが、やはり東日本大震災、そして台風19号の被災者のみなさまへのケアは同レベルで考えていかなければならないと思っています。これで、11月議会ですべて終わりということではございませぬので、2月議会以降もしっかりと考えていきたいと思っています。

いずれにしても、県民の代表でありますみなさまの意見を知事として、しっかりと受けとめるというのは最大の責務であり、県知事として当然のことです。これに限らずいろんな意見を受けとめていききたいと思っています。